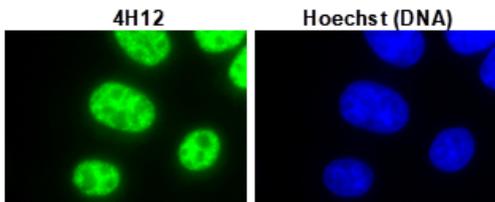
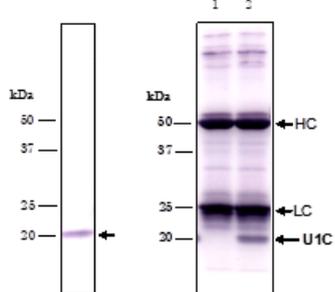


抗 U1 snRNP C(U1C)抗体, ラット モノクローナル (4H12)

商品コード	70-400
容量	100 µg
保存	-20°C
濃度	1 mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol
純度	ハイブリドーマの培養上清から独自のクロマトなどのマイルドな方法によって精製した aa
抗原	リコンビナント GST-融合 マウス U1C タンパク質 (全長)
アイソタイプ	ラット IgG 2aκ
反応性	ヒト、サル、マウス U1C。他の種はテストしていない。
特記事項	N/A
アプリケーション	1.ウエスタンブロッティング 2. 免疫細胞化学 3. 免疫組織化学(凍結切片) 4. ELISA
背景	スプライソソーム U1C タンパク質 は U1 small nuclear ribonucleoprotein particle (snRNP) の構成タンパク質であり、mRNA の前駆体 (pre-mRNA) スプライシングの開始、制御に重要な働きをしている。 U1C タンパク質 は U1 snRNP の 5' スプライス 部位への結合に必要であると考えられている。
Data Link	UniProtKB Q62241 (マウス), P09234 (ヒト)
画像	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>4H12 Hoechst (DNA)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>1 2</p> <p>kDa 50 37 25 20</p> <p>← HC ← LC ← U1C</p> </div> </div> <p>図1 4H12 抗体による L929 (マウス)細胞における免疫染色</p> <p>図2 4H12 抗体を用いたウエスタンブロッティングによる HeLa 細胞全抽出液における U1C タンパク質の検出</p> <p>図3 4H12 抗体による U1C タンパク質の免疫沈降 レーン 1: 抽出液なし レーン 2: HeLa 細胞全抽出液 HC, LC ; IgG heavy & light chain</p>
文献	<ol style="list-style-type: none"> Muto Y <i>et al</i> "The structure and biochemical properties of the human spliceosomal protein U1C." <i>J Mol Biol</i> 341: 185-198 (2004) PMID: 15312772 Pomeranz Krummel DA <i>et al</i> "Crystal structure of human spliceosomal U1 snRNP at 5.5Å resolution." <i>Nature</i> 458: 475-480 (2009) PMID: 19325628
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	